



No.01

(株)駒井ハルテック

チーム名: **えるにー**によ

橋梁名

Sharks Meal

<p>構造上のポイント</p>	<p>アーチ部に板を3枚重ねており、間に竹ひごを通すことで、荷重を受け持つ構造にした。</p>	<p>このデザインを見て欲しい</p>	<p>アーチ橋のケーブルをサメの歯に見立て、サメの口の中を通るデザインにした。</p>
<p>工夫、苦労したところ</p>	<p>接合部にダボを多く設け曲げ抵抗、せん断抵抗を高めた。 床版部分に通す角材を削るのに苦労した。</p>	<p>作り上げでの感想</p>	<p>試行錯誤しながら、より軽く、より精度の高い橋を目指し、納得のいく橋を完成させることができた。</p>
<p>製作期間</p>	<p>2ヶ月</p>		

メンバー

高橋 磨矢
野口 拓弥
緒形 瞳
西形 あすみ





No.12

(株)駒井ハルテック

チーム名: **のるかそるか**

橋梁名

雅～柔能制剛～

<p>構造上のポイント</p>	<p>中央結合部に負荷がかかることが予想されたため、中央結合部の下側もアーチ構造とし、合計3つのアーチを構造に組み込んだ。 構造上弱くなる部分は、ボンドのみで接合するのではなく、切り欠きやダボを設け、強固に接合した。</p>	<p>このデザインを見て欲しい</p>	<p>アーチ部と支点部の左右非対称なデザイン。 アーチの曲線美。 放射状に張った風糸。</p>
<p>工夫、苦労したところ</p>	<p>アーチに使用している角材を綺麗に曲げるところ。 重りに干渉しない位置を考慮しながら、風糸をバランス良く配置するところ。</p>	<p>作り上げでの感想</p>	<p>最初に製作した模型から減量したため、25kgの荷重に耐えられるか不安でしたが、載荷実験では少ないたわみで荷重に耐えることができました。 左右非対称ながらも、しっかりと荷重に耐える構造の模型を完成させることができ良かったです。</p>
<p>製作期間</p>	<p>約1ヶ月半</p>		

メンバー

豊福 息吹
佐藤 里桜
荘司 朱梨
佐久間 綾香

